

市民文化スポーツ局

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善									
施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）						成果の方向性	H27年度	H28年度	事業費の増減	人件費（目安）			H26年度	H28年度に向けて強化・見直した内容（課題に対する改善方法等）	H26年度	H28年度に向けて強化・見直した内容（課題に対する改善方法等）		
					指標名等	現状値（基準値）	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度		中期目標	予算額（千円）		予算額（千円）	金額（千円）	職位	人数		事業評価		局施策評価	
I-1-(2)-⑤ 子どもの特性を伸ばす教育の充実	1	博物館セカンドスクール事業	自然史・歴史博物館普及課	博物館を第二の学校と位置づけ、修学旅行・社会見学など学校教育の一環として、子どもたちの博物館利用の促進を図るものである。	学校団体誘致数	799団体(H15年度)	目標	1,000 団体	1,000 団体	1,000 団体	1,000 団体	1,000団体以上(毎年度)	継続	2,084	1,857	減額	16,075	課長	0.05 人	順調	目標どおりの誘致活動を実施することで、学校関係の団体数・入館者数ともに目標を達成することができたため、今後も更なる誘致活動の充実を目指す。	順調	多くの集客が見込めるよう、誘致活動の充実や企画展の開催を行う。
							実績	1,370 団体	1,263 団体										係長				
	2	文学館普及研究費	文学館	北九州市ゆかりの文学者の業績を企画展等で紹介し、本市の文芸の振興に功績のあった文学者を市内外に発信する。	企画展の入館者数(単位：人)	10,741人(H23年度)	目標	13,000 人	22,000 人	22,000 人	22,000 人	22,000人(H27年度)	継続	23,125	19,125	減額	12,625	課長	0.50 人	順調	平成28年度の特別企画展に関しては、より多くの市民が関心を持ち、集客が見込めるものに特化し、メリハリをつけた事業の展開を図る。	順調	
							実績	13,211 人	26,564 人										係長				
I-3-(2)-② 地域を支えるボランティアの育成	3	NPO・市民活動促進事業	市民活動推進課	市民活動の促進に加え、NPOと行政の協働を推進するため、活動や協働等に関する相談・助言、情報提供、研修・啓発等を実施する。	新規設立NPO法人数(累計)	18法人(H24年度)	目標	30 法人	45 法人	60 法人	75 法人	75法人(H28年度)	継続	17,664	20,420	その他	20,700	課長	0.30 人	順調	市民活動の裾野を広げるため、市民に対し活動のきっかけづくりとなるセミナー、講演会を引き続き開催するとともに、NPO法人の適正運営のため、相談機能の充実を図る。	順調	市民活動への参加のきっかけづくりとなるセミナーや講演会を引き続き開催するとともに、NPO法人の適正運営のための各種支援を行う。
							実績	31 法人	47 法人										係長				
					サポートセンター利用者数	18,362人(H20年度)	目標	21,000 人	23,000 人	23,500 人	24,000 人	24,000人(H28年度)	継続	26,656	29,086	増額	8,075	職員	1.50 人	順調			
							実績	22,935 人	23,127 人										職員				0.60 人
II-1-(1)-② 市民の消費生活の安定と向上	4	消費者啓発の推進	消費生活センター	消費者に対する啓発活動を推進するとともに、消費者が自主性を持って健全な消費生活を営むことができるよう支援する。	消費生活センターの認知度	92%(H23年度)	目標	90 %	90 %	90 %	90 %	90%以上(毎年度)	継続	26,656	29,086	増額	8,075	課長	0.05 人	順調	これまで取り組んできた出前講座等による啓発活動に加え、高齢者を中心に被害が増加しているニセ電話詐欺の未然防止のため、市主催のイベントや事業等を活用し、集中的に注意喚起を行う。あわせて「地域のお世話役」として活躍できる賢い消費者の育成を図り、地域での見守りの輪を広げる。	順調	これまでの啓発活動に加え、現在、高齢者を中心に被害が増加しているニセ電話詐欺への啓発活動を行う。また、「地域のお世話役」として活躍できる賢い消費者の育成を図り、地域での見守りの輪を広げる。
							実績	88 %	92.4 %										係長				
					消費生活センター等に相談又は相談を勧める市民の割合	91.5%(H26年度)	目標	90 %	90 %	90 %	90%以上(毎年度)	継続	26,656	29,086	増額	8,075	職員	0.60 人	順調				
							実績	91.5 %	101.7 %													職員	0.60 人
消費者トラブルを解決した市民の割合	—	目標	74 %			—	継続	26,656	29,086	増額	8,075	職員	0.60 人	順調									
							実績	57 %			—	継続	26,656	29,086	増額	8,075	職員	0.60 人	順調				
							達成率	77.0 %				継続	26,656	29,086	増額	8,075	職員	0.60 人	順調				

市民文化スポーツ局

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善																	
施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）						成果の方向性	H27年度	H28年度	事業費の増減	人件費（目安）			H26年度	H28年度に向けて強化・見直した内容（課題に対する改善方法等）	H26年度	H28年度に向けて強化・見直した内容（課題に対する改善方法等）										
					指標名等	現状値（基準値）	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度		中期目標	予算額（千円）		予算額（千円）	金額（千円）	職位	人数		事業評価		局施策評価									
Ⅱ-1-(3)-① 「北九州市安全・安心条例」の制定と安全・安心に関わる施策の推進	5	日本トップクラスの安全・安心なまちづくり推進事業	安全・安心推進課	警察、関係団体等と連携し、市民等の防犯意識の向上や自主防犯活動の活発化、安全・安心な環境の整備などに取り組み、日本トップクラスの安全・安心なまちづくりを推進する。	刑法犯認知件数	12,372件 (H25年)	目標	前年件数 (12,372件) 減	前年件数 減	前年件数 減	H26年比 4,000件減 (H31年)	—	25,155	15,635	減額	15,900	課長	0.10人	—	地域防犯活動の次世代の担い手の育成や、自主防犯活動を市内外に情報発信することで、活動者の拡大やモチベーションの高揚を図る。さらに、安全・安心な繁華街づくりに取り組むことで、都市のイメージの向上を目指す。	—	犯罪件数の減少に体感治安が伴うよう、引き続き安全・安心に関する活動の推進を図るとともに、効果的・効率的に安全・安心に関する情報や取り組みを市内外に発信していく。									
						実績	11,267件										係長	0.35人													
						達成率	1,105件減										職員	1.50人													
					市民が感じる治安状況 (体感治安)	77% (H25年度)	目標	前年度 (77%) 比増	前年度比 増	前年度比 増	90% (H31年度)						継続	3,300					2,000	減額	15,900	課長	0.10人	—	27年度に作成した啓発パンフレット等を活用しながら、防犯意識等の向上を図るとともに、SNSや誌面を利用した情報発信に取り組む。	—	
						実績	73%																			係長	0.35人				
						達成率	95.0%																			職員	1.50人				
	6	子どもと女性の犯罪被害防止推進事業	安全・安心推進課	子どもと女性の犯罪被害を防止するため、子ども自身や子どもを見守る保護者、女性を対象とした安全セミナー等を開催し、防犯意識や知識の向上を図る。	「安全セミナー」「地域安全マップづくり」延べ実施校	35校 (H25年度)	目標	25校	50校	75校	125校 (H31年度)	継続	3,300	2,000	減額	15,900			課長	0.10人	—	27年度に作成した啓発パンフレット等を活用しながら、防犯意識等の向上を図るとともに、SNSや誌面を利用した情報発信に取り組む。				—					
						実績	31校												係長	0.35人											
						達成率	124.0%												職員	1.50人											
					性犯罪認知件数	104件 (H25年)	目標	前年件数 (104件) 減	前年件数 減	前年件数 減	件数減 (H28年)						—	22,312	20,310	維持			15,900	課長	0.10人			—	市民が気軽に相談できる体制を整えることで、より効率的で効果的な運用を図る。	—	
						実績	106件																	係長	0.35人						
						達成率	2件増																	職員	1.50人						
7	安全・安心総合相談ダイヤル事業	安全・安心相談センター	市民生活の身近な安全・安心に関する相談を受付ける「安全・安心総合相談ダイヤル」を円滑に運用し、市民の相談機会の充実と不安感解消を図る。	安全・安心総合相談ダイヤルの認知度	-	目標	事業の実施	アンケートの実施	—	—	22,312	20,310	維持	15,900	課長	0.10人					—	市民が気軽に相談できる体制を整えることで、より効率的で効果的な運用を図る。		—							
					実績										係長	0.35人															
					達成率										職員	1.50人															

市民文化スポーツ局

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善								
施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）						成果の方向性	H27年度	H28年度	事業費の増減	人件費（目安）			H26年度	H28年度に向けて強化・見直した内容（課題に対する改善方法等）	H26年度	H28年度に向けて強化・見直した内容（課題に対する改善方法等）	
					指標名等	現状値（基準値）	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度		中期目標	予算額（千円）		予算額（千円）	金額（千円）	職位	人数		事業評価		局施策評価
8	地域防犯対策事業		安全・安心推進課	北九州市安全・安心条例では、「市民等は安全・安心に関する意識を自ら高め、行動すること」「市及び市民等は相互に連携を深め、防犯活動を協力して推進すること」と定められている。この事業では、市民の防犯意識を高め、地域住民の自主防犯活動を促進し、安全・安心を実感できるまちの実現を図る。	街頭犯罪件数	5,212件 (233件減) (平成25年度)	目標 前年比 (5,445件) 減	実績 5,212 件	4,973 件	前年比減	前年比減	—	継続	33,138	33,346	維持	15,900	課長	0.10 人	順調	これまでの地域防犯対策事業に加え、市民・警察・関係団体等と連携し、防犯意識の向上と自主防犯活動の一層の促進を図り、安全で安心なまちづくりを目指す。	
						達成率	233件減	239件減														
9	防犯灯設置事業		安全・安心都市整備課	夜間における犯罪の発生を未然に防止し、公衆の通行の安全を図るため地域と市が協力しながら、防犯灯を設置。防犯灯の設置にあたっては、LED防犯灯の設置促進を図り、町内会等の地域の防犯灯の設置のための費用の一部を助成し、明るく安心して生活できるまちづくりを推進。	刑法犯認知件数	11,267件 (平成26年)	目標 前年比減 (12,409件) 減	実績 12,372 件	11,267 件	前年比減	前年比減	—	継続	153,137	169,822	増額	3,435	課長	0.04 人	順調	引き続き、地域と市が連携し、防犯灯の設置や管理を推進する。また、維持管理費用の低減を図るため、LED化を推進し、地域への補助等を実施しながら明るく安全なまちづくりを推進する。	
						達成率	37件 減	1,105件 減														
10	防犯カメラ事業		安全・安心都市整備課	暴力団犯罪をはじめ街頭犯罪を抑止し、市民生活等の安全・安心を確保するため、人が多く集まる繁華街や幹線道路に既に設置している防犯カメラの適正な維持管理、運用を行う。	繁華街における犯罪発生件数	小倉中央小学校区785件 (前年比161件減 17%減) 黒崎中央小学校区288件 (前年比5件減 1%減) 計 1,073件 (前年比166件減 13%減)	目標 件数減 (前年比)	実績 12件減 (1%減)	166件減 (13%減)	前年比減	前年比減	—	継続	45,714	45,711	維持	1,735	課長	0.04 人	順調	主要幹線道路や小倉北区、八幡西区の繁華街に既に設置している防犯カメラの適正な運用を引き続き実施する。	安全で安心なまちづくりのため、ソフト面では市民や警察、関係団体との連携し、ハード面では防犯灯や防犯カメラの設置や維持管理等を進める。
						達成率	—	—														
11	防犯カメラ設置補助事業		安全・安心都市整備課	安全・安心条例の施行を機に、地域団体や事業者が犯罪抑止を目的として公共空間を撮影する防犯カメラを設置する際の経費の一部を補助することで、安全・安心な環境の構築に向けたさらなる取り組みを推進する。	刑法犯認知件数	11,267件 (平成26年)	目標	実績		11,267件	前年比減	—	—	30,500	25,000	減額	3,435	課長	0.04 人	—	新しい制度を地域や事業者等へ丁寧に説明を行いながら事業を進めていく。	
						達成率																
12	<新> 通学路防犯灯拡充事業		安全・安心都市整備課	通学路において、子どもはもとより、女性や高齢者など誰もが安全で安心して歩ける環境づくりにつなげるため、防犯灯(LED灯)の補助制度の拡充や市による防犯灯の設置など、通学路の安全確保に取り組む。	刑法犯認知件数	11,267件 (平成26年)	目標	実績			平成27年比減	—	—	0	20,000	—	3,435	課長	0.04 人	—	新しい制度を地域などへ丁寧に説明を行いながら事業を進めていく。	
						達成率																

市民文化スポーツ局

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善								
施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）						成果の方向性	H27年度	H28年度	事業費の増減	人件費（目安）			H26年度	H28年度に向けて強化・見直した内容（課題に対する改善方法等）	H26年度	H28年度に向けて強化・見直した内容（課題に対する改善方法等）	
					指標名等	現状値（基準値）	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度		中期目標	予算額（千円）		予算額（千円）	金額（千円）	職位	人数		事業評価		局施策評価
Ⅱ-1-(3)-③ 暴力団追放運動の推進	13	暴力追放の推進	安全・心相談センター	社会全体で暴力団を排除する取り組みを推進するため、事業者・市民の暴排意識を高める市民暴力追放総決起大会や暴力追放強調月間による集中的な啓発活動などを実施し、官民一体となって取り組む。	暴追対策に対する市民の評価	目標	前年度(52%)比増	前年度比増	前年度比増	前年度比増	—	継続	16,052	10,920	減額	12,850	課長	0.40 人	順調	市・警察・市民とが連携・協力して、安全・安心なまちづくりを促進する環境を整えとともに、市民意識の高揚を図る。また、市民の不安感の払拭に向けて、警察など関係機関と連携し、引き続き暴追活動を行うとともに、暴力団からの離脱希望者への就労支援や、雇用に協力する事業者の拡大に向けた普及啓発を行う。	順調	警察や市民との連携し安全で安心なまちづくりを促進するとともに、市民意識の高揚を図る。また、市民が相談できる体制や暴力団からの離脱に繋がる事業を実施する。
						実績	48 %	68 %									係長	0.30 人				
					達成率	92.3 %	142.0 %			職員	0.70 人											
					目標	前年度(52%)比増		前年度比増		—												
	企業における暴力団排除条項の規定割合	52% (平成24年)	実績	55.8 %			—															
		達成率	107.3 %																			
14	民事介入暴力相談事業	安全・心相談センター	市民生活への暴力団等の介入を排除し、安全・安心なまちづくりを図るため、民事介入暴力相談を実施。	暴追対策に対する市民の評価	目標	前年度(52%)比増	前年度比増	前年度比増	前年度比増	—	継続	26,761	26,865	維持	4,300	課長	0.20 人	順調	市民が気軽に相談できる体制を整えることで、より効率的で効果的な運用を図る。	順調		
					実績	48 %	68 %									係長	0.20 人					
				達成率	92.3 %	142.0 %			職員	0.00 人												
				目標	前年度(52%)比増		前年度比増		—													
企業における暴力団排除条項の規定割合	52% (平成24年)	実績	55.8 %			—																
	達成率	107.3 %																				

市民文化スポーツ局

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善										
施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）						成果の方向性	H27年度	H28年度	事業費の増減	人件費（目安）			H26年度	H28年度に向けて強化・見直した内容（課題に対する改善方法等）	H26年度	H28年度に向けて強化・見直した内容（課題に対する改善方法等）			
					指標名等	現状値（基準値）	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度		中期目標	予算額（千円）		予算額（千円）	金額（千円）	職位	人数		事業評価		局施策評価		
II-1-(3)-④ 交通安全の推進	15	交通安全推進事業	安全・安心都市整備課	第9次交通安全計画に基づき、重点項目について啓発を実施。生涯にわたる交通安全教育及び効果的な広報啓発活動により、市民に広く交通安全思想を普及し、交通事故防止を図るもの。	交通事故の発生件数（警察統計のため暦年でカウント）	8,325件 (H26年)	目標	8,951 件	前年比減	前年比減	前年比減	前年比減	平成27年度までに8,000件以下	継続	5,444	5,440	維持	9,800	課長	0.20 人	順調	引き続き、交通安全での教育や広報啓発など実施し、交通事故防止を図る。	大変順調	市民の交通安全に繋がるよう、啓発活動や交通安全教室を開催する。また、自転車の安全利用を推進するために自転車交通ルール検定の対象者を拡大する。
						実績	8949 件	8325 件				係長							0.30 人					
						達成率	2件減	624件減				職員							0.60 人					
	16	交通安全センター管理運営	安全・安心都市整備課	市立交通安全センターを管理（指定管理）するとともに、交通公園内外における交通ルール・マナーの徹底を図り、自転車の安全運転を促進する。	交通事故の発生件数（警察統計のため暦年でカウント）	8,325件 (H26年)	目標	8000 件	前年比減	前年比減	前年比減	前年比減	平成27年度までに8,000件以下	継続	27,573	27,573	維持	3,650	課長	0.10 人	大変順調	引き続き、交通公園での交通安全教室などで、自転車の安全運転を促進し、交通事故防止を図る。	大変順調	市民の交通安全に繋がるよう、啓発活動や交通安全教室を開催する。また、自転車の安全利用を推進するために自転車交通ルール検定の対象者を拡大する。
						実績	8949 件	8325 件				係長							0.10 人					
						達成率	2件減	624件減				職員							0.20 人					
17	「自転車マナーアップ北九州」推進事業	安全・安心都市整備課	自転車のルール・マナーアップを推進するため、自転車交通ルール検定の対象者拡大など自転車安全教育や啓発の更なる推進とともに、万が一に備えた自転車保険の加入促進に取り組む。	自転車関連事故の発生件数（警察統計のため暦年でカウント）	972件 (H26年)	目標	前年比減 (1,136 件)	前年比減	前年比減	前年比減	前年比減	-	継続	2,000	2,000	維持	5,400	課長	0.10 人	大変順調	自転車交通ルール検定の実施などにより、自転車の安全利用を推進し、自転車関連事故の防止を図る。また、自転車交通ルール検定の対象を広げ、保険加入促進なども取り組む。	大変順調	市民の交通安全に繋がるよう、啓発活動や交通安全教室を開催する。また、自転車の安全利用を推進するために自転車交通ルール検定の対象者を拡大する。	
					実績	1069 件	972 件				係長							0.20 人						
					達成率	67件減	97件減				職員							0.30 人						

市民文化スポーツ局

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善									
施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）						成果の方向性	H27年度	H28年度	事業費の増減	人件費（目安）			H26年度	H28年度に向けて強化・見直した内容（課題に対する改善方法等）	H26年度	H28年度に向けて強化・見直した内容（課題に対する改善方法等）		
					指標名等	現状値（基準値）	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度		中期目標	予算額（千円）		予算額（千円）	金額（千円）	職位	人数		事業評価		局施策評価	
Ⅱ-1-(3)-⑤ 非行や犯罪を生まない地域づくり	18	地域防犯対策事業	安全・安心推進課	北九州市安全・安心条例では、「市民等は安全・安心に関する意識を自ら高め、行動すること」「市及び市民等は相互に連携を深め、防犯活動を協力して推進すること」と定められている。この事業では、市民の防犯意識を高め、地域住民の自主防犯活動を促進し、安全・安心を実感できるまちの実現を図る。	街頭犯罪件数	5,212件 (233件減) (平成25年度)	目標 前年比 (5,445件) 減	実績 5,212件	4,973件	前年比減	前年比減	—	継続	33,138	33,346	維持	15,900	課長	0.10人	順調	H28年度に向けて強化・見直した内容（課題に対する改善方法等） これまでの地域防犯対策事業に加え、市民・警察・関係団体等と連携し、防犯意識の向上と自主防犯活動の一層の促進を図り、安全で安心なまちづくりを目指す。	順調	地域防犯対策事業や市民や警察、関係団体等との連携を推進する。これにより、市民の防犯意識を高め、非行や犯罪を生まないまちづくりを目指す。
						達成率 233件減	239件減	前年度比増	前年度比増	平成31年度 90%	係長	0.35人						職員	1.50人				
Ⅱ-3-(4)-① 平和の尊さへの理解の促進	19	戦時資料展示コーナー管理運営事業	地域振興課	本事業は、市民からご寄贈いただいた戦時下の資料を保管、展示することにより、北九州市立埋蔵文化財センター内に開設した戦時資料展示コーナーにおいて、戦争がもたらした惨禍と平和の尊さを多くの市民に理解していただく。	戦時資料展示コーナー見学者数	3,647人 (H22年度)	目標 4,000人	実績 3,602人	3,986人	4,000人	4,000人	4,000人 (平成28年度)	継続	6,327	1,420	減額	1,220	課長	0.03人	順調	戦後70年の節目の年にあたる27年度は、上映ビデオや展示パネルの更新をおこなった。28年度は、これらの事業を活かし、さらに多くの市民に会場にいらしたPRに取り組む。また、引き続きチラシの配布先の拡充等、広報活動の充実を図る。	順調	戦時資料展示コーナーの広報活動について、上映ビデオや展示パネルを更新した内容を反映させることで充実を図る。
Ⅲ-1-(1)-④ 市民のモラル・マナーの向上	20	モラル・マナーアップ関連条例推進事業	安全・心都市整備課	条例や基本計画に基づき下記事業に取り組む。 ・小倉・黒崎地区（迷惑行為防止重点地区）での巡視活動（過料の適用） ・地域が実施する迷惑行為防止活動に対する支援 ・小学生を対象としたモラル・マナーアップ教育 ・モラルマナーアップに関する広報啓発	迷惑行為防止に係る地域活動団体の増加	82団体 (H26年度)	目標 前年度(82団体)比増	実績	前年度(82団体)比増	前年度(82団体)比増	前年度(82団体)比増	前年度(82団体)比増	継続	30,531	29,492	維持	6,150	課長	0.10人	—	引き続き、条例や基本計画に基づいた事業に取り組んでいく。	順調	条例や基本計画の認知度を上昇させるため広報活動などを行い、また、迷惑行為防止重点地区への路面標示を整備を行う。
					路上喫煙率（歩行者に占める喫煙者の割合）	小倉0.17% 黒崎0.24% (H26年度)	目標 前年度(小倉0.22%、黒崎0.37%)比減	実績 小倉0.17% 黒崎0.26%	0.17% 0.24%	0.17% 0.26%	0.17% 0.24%	前年度(小倉0.17%、黒崎0.24%)比減						前年度(小倉0.17%、黒崎0.24%)比減	前年度(小倉0.17%、黒崎0.24%)比減				
	21	迷惑行為防止重点地区サイン整備事業	安全・心都市整備課	迷惑行為防止重点地区内の路面標示等サイン整備の充実を図ることで、円滑な巡視活動や広報・周知の取り組み強化につなげ、市民のモラル・マナーアップを推進する。	迷惑行為防止に係る地域活動団体の増加	82団体 (H26年度)	目標 前年度(82団体)比増	実績	前年度(82団体)比増	前年度(82団体)比増	前年度(82団体)比増	前年度(82団体)比増	—	2,000	2,000	維持	4,400	課長	0.10人	—	市民等に分かりやすく、安全な路面標示の設置に取り組む。	順調	市民等に分かりやすく、安全な路面標示の設置に取り組む。
					路上喫煙率（歩行者に占める喫煙者の割合）	小倉0.17% 黒崎0.24% (H26年度)	目標 前年度(小倉0.22%、黒崎0.37%)比減	実績 小倉0.17% 黒崎0.26%	0.17% 0.24%	0.17% 0.26%	0.17% 0.24%	前年度(小倉0.17%、黒崎0.24%)比減						前年度(小倉0.17%、黒崎0.24%)比減	前年度(小倉0.17%、黒崎0.24%)比減				
Ⅲ-2-(1)-② 地域における伝統文化の発掘・継承	22	文化財保存補助	文化企画課	伝統文化の継承者や保存団体の活動を育成・支援し、市内の伝統文化を発掘し、次世代に継承していく。	指定無形民俗文化財保存支援団体数	16団体 (H26年度)	目標 17団体	実績 16団体	17団体	15団体	15団体	—	継続	1,198	1,007	維持	11,050	課長	0.20人	順調	指定無形民俗文化財の保存団体の自主的な申請に対して補助を行うもので、急激に申請件数が増加するものではないが、保存団体に対しては引き続き周知・広報を行っていく。	順調	伝統文化の保存・継承につなげていくため、文化財保存補助を継続して実施し、また、保存団体への周知・広報などを行う。

市民文化スポーツ局

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善													
施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）						成果の方向性	H27年度	H28年度	事業費の増減	人件費（目安）			H26年度	H28年度に向けて強化・見直した内容（課題に対する改善方法等）	H26年度	H28年度に向けて強化・見直した内容（課題に対する改善方法等）						
					指標名等	現状値（基準値）	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度		中期目標	予算額（千円）		予算額（千円）	金額（千円）	職位	人数		事業評価		局施策評価					
Ⅲ-2-(2)-① 発信力の高い文化芸術の振興	23	芸術文化活性化事業	文化企画課	【劇場・自主事業】 エンターテインメントから芸術性の高い作品まで舞台芸術全般を網羅し、幅広い年代層をターゲットに公演を行う。また、北九州芸術劇場オリジナルの演劇作品等を制作し、公演を実施。 【響ホール・自主事業】 室内楽専用ホールの特性を生かした質の高いコンサートや響ホールを拠点として地元演奏家を積極的に育てるコンサートを行う。また、響ホールからの発信を意識した、オリジナリティのある演奏会を実施	北九州芸術劇場・自主事業入場率	95% (H21年度)	目標	80 %	80 %	80 %	80 %	—	継続	159,531	141,839	維持	3,550	課長	0.05 人	順調	今後北九州芸術劇場や響ホールが持つ特性を活かし、多彩で良質な音楽・舞台芸術等を提供していく必要がある。そのため、事業の効率化を念頭に置きながら、効果的な事業実施に努めていく。	—	—				
							実績	88 %	89 %									—									
							達成率	110.0 %	111.3 %										—								
							目標	65 %	65 %	65 %	65 %													—			
							実績	82 %	60 %																—		
							達成率	126.2 %	92.3 %																	—	
	職員	0.17 人	—	—																							
	職員	0.17 人																									
	24	北九州国際音楽祭			文化企画課	地域の音楽文化の向上を図ることを目的に、クラシックコンサートを中心とした音楽祭に助成を行うもの。本音楽祭は、市制25周年を記念して始まり、27年度で28回を数え、本市の秋を彩る催し物として定着している。	北九州市国際音楽祭の満足度の割合	83% (H21年度)	目標	85 %	85 %	85 %	85 %	—	継続	40,000	40,000	維持	1,625	課長	0.05 人	順調	国際音楽祭は、本市の秋を彩るレベルの高い音楽イベントとして定着している。今後も、企画内容等をより充実させ、満足度や集客の向上を目指す。				—
									実績	99 %	99 %									—							
									達成率	116.5 %	116.5 %										—						
									目標	100,000 千円	110,000 千円	110,000 千円	110,000 千円											—			
実績			310,440 千円	105,980 千円							—																
達成率			310.4 %	96.3 %								—															
職員	0.06 人	—	—																								
職員	0.06 人																										
25	映像製作誘致強化関連事業			文化企画課	映画・テレビドラマ等のロケ地誘致や撮影支援を積極的に行い、本市の知名度と都市イメージの向上を図る。また、活動成果の市民との共有や、「映画の街・北九州」という新たな都市ブランドの発信により、街のにぎわいの創出や市民交流等のまちづくりにつなげる。	地域経済への貢献（直接経済効果）	100,000千円 (H21年度)	目標	100,000 千円	110,000 千円			110,000 千円	110,000 千円	—	継続	26,192	29,288	増額	36,100	課長	0.40 人	順調		「映画の街・北九州」を国内外に発信するため、海外の映画・テレビドラマの誘致による新たな観光客の獲得を見据え、本市の魅力的なロケーションを紹介する映像の製作、撮影支援、完成後のPRまで、切れ目のない誘致活動の実施・将来にわたる海外作品の誘致につなげるため、アジアの若者を本市に招いての文化研修などに取り組む。	—	—
								実績	310,440 千円	105,980 千円											—						
								達成率	310.4 %	96.3 %				—													
								目標	60.0 %	60.0 %	60.0 %	60.0 %	80.0% (平成30年度)														
		実績	59.8 %					59.9 %			—																
		達成率	99.7 %					99.8 %				—															
職員	1.80 人	—	—																								
職員	1.80 人																										
26	<新>松永文庫企画事業			文化企画課	映画・芸能資料館「松永文庫」における企画展示・イベント等の積極的な開催を通じて、映画文化の振興、「映画の街・北九州」の情報発信に取り組む	来館者数年間9万人	89,317人 (H26年度)	目標							9万 人	9万人/年	—	0	6,500	—	4,150	課長	0.10 人	—	より多彩な切り口での、魅力的な展示やイベントを行い、発信力を高めていく。	—	—
								実績							—												
								達成率						—													
職員	0.30 人			—	—																						
職員	0.00 人																										

市民文化スポーツ局

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善									
施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）						成果の方向性	H27年度	H28年度	事業費の増減	人件費（目安）			H26年度	H28年度に向けて強化・見直した内容（課題に対する改善方法等）	H26年度	H28年度に向けて強化・見直した内容（課題に対する改善方法等）		
					指標名等	現状値（基準値）	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度		中期目標	予算額（千円）		予算額（千円）	金額（千円）	職位	人数		事業評価		局施策評価	
Ⅲ-2-(2)-② 市民の文化芸術活動の促進	27	芸術文化育成負担金・補助金	文化企画課	本市の文化水準の向上及び地域文化の振興を推進することを目的として、積極的に文化活動を展開している文化団体等の事業に対して、助成を行う事業。	各種文化事業の実施	16事業 (H23年度)	目標	16 事業	16 事業	15 事業	16 事業	—	継続	37,450	41,450	増額	5,825	課長	0.05 人	順調	引き続き、本市の文化水準の向上や市民の文化活動の活性化を目指し、積極的に文化活動を展開している団体等の事業を助成していく。	順調	引き続き、本市の文化水準の向上や市民の文化活動の活性化を目指し、積極的に文化活動を展開している団体等の事業を助成していく。
							実績	16 事業	16 事業									係長	0.30 人				
							達成率	100.0 %	100.0 %									職員	0.30 人				
	28	北九州市文化振興基金	文化企画課	北九州市の文化水準の向上と地域文化の振興に資することを目的として設置された北九州市文化振興基金運用果実により、市民の行う芸術・文化活動等に対し助成を行う。	北九州市文化振興基金奨励事業の補助件数	27件 (H21年度)	目標	25 件	25 件	25 件	25 件	—	継続	11,366	10,130	減額	3,825	課長	0.05 人	順調	文化芸術に関する市民の自主的な活動を更に活発化し、その内容がレベルアップするよう引き続き効果的な支援を行っていく。	順調	引き続き、本市の文化水準の向上や市民の文化活動の活性化を目指し、積極的に文化活動を展開している団体等の事業を助成していく。
実績							22 件	20 件			係長							0.10 人					
達成率							88.0 %	80.0 %			職員							0.30 人					
Ⅲ-2-(2)-③ 市民が文化芸術に接する機会の拡大	29	美術館企画展充実事業	美術館普及課	美術館本館及び分館において、多彩で魅力ある企画展を開催し、本市の美術・文化の振興を積極的に推進する。	美術館の入館者数	245,420人 (H26年度)	目標	300,000 人	300,000 人	150,000 人	113,000 人	—	縮小	83,464	80,120	減額	36,750	課長	0.25 人	やや遅れ	本館は、H28年度は改修工事に伴う休館のため、企画展及びコレクション展は開催できないが、分館においては、気軽に楽しめる美術作品や世界的な美術作品など、幅広い作品の展覧会を開催し、多くの市民が美術作品に触れる機会を創出する。 また、展覧会の開催については、開催経費や諸経費を精査した上で、少しでも多くの市民の来館を目指す。	順調	市民が文化芸術に接する機会を拡大するため、魅力ある展覧会や企画展、特別展等を展開する。
							実績	363,190 人	245,420 人									係長	0.65 人				
							達成率	121.1 %	81.8 %									職員	3.65 人				
							目標	50,000 人	50,000 人	5,000 人	0 人							—	継続				
	実績	622,701 人	474,939 人			係長	1.80 人																
	達成率	177.9 %	110.5 %			職員	5.40 人																

市民文化スポーツ局

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善									
施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）						成果の方向性	H27年度	H28年度	事業費の増減	人件費（目安）			H26年度	H28年度に向けて強化・見直した内容（課題に対する改善方法等）	H26年度	H28年度に向けて強化・見直した内容（課題に対する改善方法等）		
					指標名等	現状値（基準値）	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度		中期目標	予算額（千円）		予算額（千円）	金額（千円）	職位	人数		事業評価		局施策評価	
Ⅲ-2-(2)-④ 文化芸術の担い手の育成	31	優れた文化・芸術との“出会い”創造事業	文化企画課	将来の文化・芸術の担い手を育成し、本市の文化振興をさらに進めるとともに、シビックプライドの醸成につなげていくため、若者や子どもたちを中心に優れた文化・芸術との“出会い”の場・機会（アウトリーチ事業やホールにおける鑑賞サポート・ワークショップ等）を創造していくもの。	教育普及事業への参加者数の増加	—	目標				2500 人	—	拡大	10,000	18,000	その他	8,725	課長	0.15 人	—	次代の文化の担い手育成や本市の文化活動の活性化のため、若者や子どもたちを中心に優れた文化・芸術活動に触れる機会を創造していく。	—	
							実績					—					係長	0.40 人					
								達成率										職員	0.40 人				
	32	「合唱の街づくり」推進事業	文化企画課	市民の歌声があふれる「合唱の街・北九州」の実現に向けて、子どもたちからシニア世代まで幅広い多くの市民が、合唱する側や聴いて楽しむ側として参加するまちづくりを進めている。	合唱関連事業における歌い手としての参加者	—	目標				1000 人	—	拡大	2,000	8,000	増額	7,150	課長	0.10 人	—	楽器等を必要としない合唱は、誰もが参加しやすい文化活動であり、地域内の世代間交流の促進という効果も期待される。今後は、より「合唱の街・北九州」を市内外にPRしていくとともに、合唱参加者へのレベルアップを促し、活動の活性化を図っていきたい。	—	
							実績											係長	0.30 人				
								達成率										職員	0.40 人				
	33	現代美術センター・CCA北九州支援事業	文化企画課	CCA北九州は、現代美術の世界的な拠点のひとつとなることを目指して活動している研究・学習機関です。国内外から集まる現代美術の若手アーティスト等の指導育成、招聘アーティストによる新作発表のための展覧会、国内外の第一線で活躍する学芸員による「キュレーターミーティング」を開催するとともに、CCA北九州のネットワークを活かして、その活動を広く市民に浸透させるための市民美術大学美術講座、子ども向けワークショップなどの事業を行っている。	リサーチプログラムの受講者数	6人 (H23年度)	目標	6 人	6 人	6 人	6 人	—	継続	54,375	55,175	維持	8,150	課長	0.10 人	順調	リサーチ・プログラムについては、一定レベルの受講生の確保を図りつつ、学研都市に移転したことによる環境を活かし、開催方法、諸経費削減等の見直しをする努力を行う。また、地域との連携はもとより、産学連携も視野に入れた事業展開を検討し、より多く、幅広い事業参加者の確保とCCA事業の浸透に務める。	順調	本市の文化・芸術の振興に向けて、次世代の担い手の育成は非常に重要な課題であり、子どもたちや若者が文化・芸術に接する機会を拡大していくことが必要である。
							実績	5 人	6 人									係長	0.70 人				
								達成率	83.3 %	100.0 %								職員	0.00 人				
							目標	2200 人	2200 人	2200 人	2200 人	—											
							実績	1920 人	2153 人														
							達成率	87.3 %	97.9 %														
34	子どもノンフィクション文学賞	文学館	「ノンフィクション」というジャンルの作文を書くことで、子どもたちが人間や社会への関心をもつ契機となり、思考能力や人間としての成長を促すことを目的に、平成21年度に全国の小中学生を対象に創設した。	市内からの応募割合	35% (H24年度)	目標	50 %	50 %			50% (H26年度)	継続	12,043	12,500	維持	9,300	課長	0.20 人	やや遅れ	釜石市をはじめ、東北地方への学校への働きかけを強化し、応募地域の広がりを図り、全国規模の賞としてふさわしい応募数、内容となることを目指す。また、市内小中学校に直接働きかけ、市内からの応募数獲得にも力を入れる。	順調		
						実績	39 %	39 %															
							達成率	78.0 %	78.0 %														
						目標	17 ブロック	17 ブロック			17ブロック (H26年度)							係長	0.40 人				
						実績	10 ブロック	12 ブロック										職員	0.40 人				
						達成率	58.8 %	70.6 %															
						目標			1,000 件	1,000 件	—												
						実績																	
						達成率																	
						目標			30 %	30 %	—												
						実績																	
						達成率																	
35	林芙美子文学賞事業	文学館	「放浪記」、「浮雲」などの作品で知られ、特に短編の名手として評価の高い林芙美子の名を冠する文学賞。多くの文学者、作家を輩出した北九州市の豊かな文化的土壌を全国に発信するとともに、北九州市文化振興計画の重要な柱である「人材育成」に寄与することを目的とする。	「林芙美子文学賞」作品応募者数	1,602件 (H26年度)	目標		400 件	1,000 件	1,000 件	—	継続	15,982	16,000	維持	5,825	課長	0.05 人	大変順調	初年度の応募規定を見直し、より質の高い作品が応募されるものにする。また、受賞者が文学界で活躍する足がかりとなるような受賞後のフォローを行う。			
						実績		1,602 件										係長	0.30 人				
						達成率		400.5 %										職員	0.30 人				

市民文化スポーツ局

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善							
施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）						成果の方向性	H27年度	H28年度	事業費の増減	人件費（目安）			H26年度	H28年度に向けて強化・見直した内容（課題に対する改善方法等）	H26年度	H28年度に向けて強化・見直した内容（課題に対する改善方法等）
					指標名等	現状値（基準値）	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度		中期目標	予算額（千円）		予算額（千円）	金額（千円）	職位	人数		事業評価	
Ⅲ-2-(2)-⑤ 文化芸術によるまちづくり	36	北九州市漫画ミュージアム普及事業	漫画ミュージアム	北九州市漫画ミュージアムにおいて、常設展示の充実・企画展・イベント等の開催を通じて漫画文化の普及を目指す。	来館者年間10万人	92,819人 (H26年度)	目標 100,000人 実績 102,547人 達成率 102.5%	100,000人 92,819人 92.8%	100,000人 100,000人	10万人/年	継続	63,397	62,755	増額	44,000	課長 1.00人 係長 1.00人 職員 3.00人	順調	さらなる漫画文化の普及及び海外との連携強化を図るため「（仮称）北九州国際漫画大賞」を新設、実施する。			
	37	映像製作誘致強化関連事業	文化企画課	映画・テレビドラマ等のロケ地誘致や撮影支援を積極的に行い、本市の知名度と都市イメージの向上を図る。また、活動成果の市民との共有や、「映画の街・北九州」という新たな都市ブランドの発信により、街のにぎわいの創出や市民交流等のまちづくりにつなげる。	地域経済への貢献（直接経済効果）	100,000千円 (H21年度)	目標 100,000千円 実績 310,440千円 達成率 310.4%	110,000千円 105,980千円 96.3%	110,000千円 110,000千円	—	継続	26,192	29,288	増額	36,100	課長 0.40人 係長 1.80人 職員 1.80人	順調	「映画の街・北九州」を国内外に発信するため、海外の映画・テレビドラマの誘致による新たな観光客の獲得を見据え、本市の魅力的なロケーションを紹介する映像の製作、撮影支援、完成後のPRまで、切れ目のない誘致活動の実施・将来にわたる海外作品の誘致につなげるため、アジアの若者を本市に招いての文化研修などに取り組む。	順調	本市から文学や漫画・映画をはじめとするメディア芸術などの情報発信を行い、また、本市ゆかりの文学者や映画俳優を顕彰し芸術文化によるまちづくりを行う。	
	38	<新>松永文庫企画事業	文化企画課	映画・芸能資料館「松永文庫」における企画展示・イベント等の積極的な開催を通じて、映画文化の振興、「映画の街・北九州」の情報発信に取り組む	来館者数年間9万人	89,317人 (H26年度)	目標 9万人 実績 9万人 達成率 100%	9万人	9万人/年	—	—	0	6,500	—	4,150	課長 0.10人 係長 0.30人 職員 0.00人	—	より多彩な切り口での、魅力的な展示やイベントを行い、発信力を高めていく。			
	39	文学の街・北九州発信事業	文化企画課	女性俳句の草分けである杉田久女・橋本多佳子などのPR・顕彰に取り組むとともに、点在する文学的素材やさまざまな文化資源・文化的取組みをつなげる仕組みづくりを行う。	小倉都心部に点在する文化資源の導線がにぎわい、多くの市民が気軽に本市ゆかりの作家・文学者に触れることのできる状態	平成27年度計画策定	目標 —件 実績 —件 達成率 —%	—件	計画策定中	—	—	2,800	22,000	増額	6,400	課長 0.10人 係長 0.30人 職員 0.30人	—	平成28年度は、平成27年度策定した計画をもとに、導線のにぎわい作り、久女や多佳子を顕彰するための取り組みを具体的に進めていく。			
	40	<新>児童文学の顕彰事業	文化企画課	本市ゆかりの児童文学を顕彰することを目的に、資料や情報資源を集約した場を設けて継続した調査・研究・普及していく拠点とする。	本市の優れた児童文学作家の作品が、より多くの子どもや市民に親しまれている状態	平成28年度計画策定	目標 —件 実績 —件 達成率 —%	—件	拠点施設の計画策定	—	—	0	3,000	—	6,400	課長 0.10人 係長 0.30人 職員 0.30人	—	平成27年度は「みずかみかずよ顕彰事業」に取り組む、八幡東区をはじめ多くの市民が児童文学の豊かな作品世界に触れるきっかけとなった。こうした機運をとらえて、平成28年度は本市の児童文学について、その顕彰の具体的な方法を調査・研究する。			

市民文化スポーツ局

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善							
施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）						成果の方向性	H27年度	H28年度	事業費の増減	人件費（目安）			H26年度	H28年度に向けて強化・見直した内容（課題に対する改善方法等）	H26年度	H28年度に向けて強化・見直した内容（課題に対する改善方法等）
					指標名等	現状値（基準値）	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度		中期目標	予算額（千円）		予算額（千円）	金額（千円）	職位	人数		事業評価	
Ⅲ-2-(3)- ① 誰もが気軽にスポーツに親しめる環境づくり	41	市民体育祭	スポーツ振興課	「市民皆スポーツ」をモットーに、スポーツ・レクリエーションの普及振興を図り、市民の健康で明るい市民生活に寄与するため、市内全域で各種大会や行事を開催。	市民体育祭参加者数（～H25）	—	目標 58,000 人 実績 57,499 人 達成率 99.1 %				—	継続	9,000	8,500	減額	2,650	課長 0.10 人 係長 0.20 人 職員 0.20 人	順調	参加者数の目標については、達成できている状況であるが、市内全域で行われる各種大会の運営をスムーズに行うことで、更なる大会の盛り上がりや、参加者増を目指す。		
				市民体育祭選手参加者数（H26～）	30367人（H26年度）	目標 30,000 人 実績 30,367 人 達成率 101.2 %	30,000 人	30,000 人	30,000 人	30000人（維持）											
	42	生涯スポーツ振興事業	スポーツ振興課	市民への生涯スポーツ振興・普及のため、各区においてスポーツ教室、交流大会、ニューススポーツ体験会などを開催。	各区におけるニューススポーツ及びファミリースポーツ大会の参加人数	12371人（H26年度）	目標 12,600 人 実績 12,549 人 達成率 99.6 %	12,000 人	12,600 人	12,600 人	H30年度までに30000人	継続	20,018	20,279	維持	990	課長 0.01 人 係長 0.05 人 職員 0.05 人	順調	各区におけるニューススポーツ及びファミリースポーツ大会を継続開催し『誰もがスポーツに親しめる環境づくり』の推進を図る。		
	43	総合型地域スポーツクラブ育成・支援事業	スポーツ振興課	総合型地域スポーツクラブは、人々が身近な地域でスポーツに親しむことのできるスポーツクラブである。多世代、多目的、多志向を特徴とし地域住民等により自主・主体的に運営される総合型地域スポーツクラブは、これからの地域スポーツの中核をなすものであり、この果たす役割は大きいことから総合型地域スポーツクラブの育成・支援に取り組む。	総合型地域スポーツクラブの会員数	1800人（H22年度）	目標 2,300 人 実績 2,320 人 達成率 100.9 %	2,500 人	2,700 人	2,900 人	H32年度までに4000人	拡大	3,779	3,779	維持	2,325	課長 0.05 人 係長 0.10 人 職員 0.10 人	順調	地域スポーツ振興の中核をなす総合型地域スポーツクラブへの育成・支援を継続し、更なる会員数の増加を図る。	順調	引き続き『誰もが気軽にスポーツに親しめる環境づくり』を推進するため、既存事業（市民体育祭、生涯スポーツ振興事業等）への参加者数の更なる増加を目指すとともに、地域スポーツ振興の中核をなす総合型地域スポーツクラブの育成・支援を継続する。 また、北九州マラソンの継続開催により、市民のスポーツ・健康に対する意識の更なる向上を目指すとともに、本市の魅力の全国発信を図る。
	44	夢・スポーツ振興事業	スポーツ振興課	2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催を踏まえ、国際・全国大会で活躍する選手を育成するため選手個々の能力を高める事業を実施。	強化講習会等の実施	—	目標 教室・強化講習会等実施 実績 教室・強化講習会等実施 達成率 — %				教室・強化講習会等実施継続	継続	5,000	6,000	増額	6,305	課長 0.02 人 係長 0.24 人 職員 0.49 人	順調	教室・強化講習会等の実施を継続し、2020年東京オリンピック・パラリンピック向けの人材育成を強化する。		
45	北九州マラソン開催事業	スポーツ振興課	・主催：北九州市、（一財）福岡陸上競技協会 ・主管：北九州マラソン実行委員会 ・後援：国土交通省九州地方整備局北九州国道事務所ほか24団体（予定） ・コース：北九州市役所前～東田地区～戸畑駅前～東港～門司港～北九州国際会議場前 ・種目及び参加人数（予定）マラソン：10,000名、ベアリレーマラソン：100組200名、ファンラン（3km又は5km）：1,000名 ・大会当日および前日に関連イベントを開催	マラソン大会開催による経済波及効果	10.5億円（H25年度）	目標 10 億円 実績 10.5 億円 達成率 105.0 %	H26年度は未測定	11.5 億円	11.5 億円	—	継続	99,300	103,571	維持	63,750	課長 2.50 人 係長 2.00 人 職員 2.00 人	順調	『北九州マラソン』を継続開催することで、本市の魅力の全国発信等に寄与し、市のシンボルイベントとして成長させる。			
				インターネットでのマラソン大会全国評価ランキング（参加者7,000人以上の大会を対象）	3位（H27年、8月時点）	目標 1 位 実績 3 位 達成率 — %	1 位	1 位	1 位	1位（H31年度）											

市民文化スポーツ局

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善							
施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）						成果の方向性	H27年度	H28年度	事業費の増減	人件費（目安）			H26年度	H28年度に向けて強化・見直した内容（課題に対する改善方法等）	H26年度	H28年度に向けて強化・見直した内容（課題に対する改善方法等）
					指標名等	現状値（基準値）	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度		中期目標	予算額（千円）		予算額（千円）	金額（千円）	職位	人数		事業評価	
Ⅲ-2-(3)-② スポーツを通じた にぎわいづくり	46	国際大会・全国大会等スポーツ開催	スポーツ振興課	市内において国際大会・全国規模の大会の開催を行い、多くの市民にスポーツに関心を高め、「みる」スポーツのニーズを引き出したり、スポーツに取り組むきっかけをつくる。また、高度なレベルの技術などを目にするすることで、個々の競技力の向上につなげる。	国際・全国大会等の開催数	29回 (H26年度)	目標 19回 実績 30回 達成率 157.9%	21回 29回 138.1%	20回 20回	20回	30回 (H32年度)	継続	3,600	3,650	維持	2,615	課長 0.01人 係長 0.10人 職員 0.20人	順調	関係団体と連携を密にし、より多くの全国大会等の開催と、スポーツイベントへの参加者増を目指す。		
	47	ギラヴァンツ北九州支援事業	スポーツ振興課	本市唯一のプロスポーツチームである「ギラヴァンツ北九州」を支援するため、ホームゲーム開催経費や遠征費の一部を補助。	ギラヴァンツ北九州の市民認知度	87% (H26年度)	目標 90% 実績 89% 達成率 98.9%	90% 87% 96.7%	90% 90%	90%	90%	継続	60,000	60,000	維持	3,075	課長 0.05人 係長 0.10人 職員 0.20人	やや遅れ	まちなにぎわいづくりと「みる」スポーツの更なる振興に寄与するため、本市唯一のプロスポーツチームである『ギラヴァンツ北九州』への支援を継続する。	順調	「ギラヴァンツ北九州」への支援を継続し、本市唯一のプロスポーツチームとして、市民への更なる定着を目指す。 また、プロスポーツの観戦招待や国際大会・全国大会等の開催、ラグビーワールドカップ2019等の大規模国際大会のキャンプ地誘致等により市民全体の機運を高め、スポーツの振興はもとより、まちなにぎわいづくりを図る。
					ギラヴァンツ北九州主催試合の平均入場者数	3622人 (H26年度)	目標 4,000人 実績 3,175人 達成率 79.4%	4,500人 3,622人 80.5%	4,500人 4,500人	4,500人	4500人 (H28年度)										
	48	ホームタウン推進事業	スポーツ振興課	本市をホームタウン・準ホームタウンとする、「ギラヴァンツ北九州」や「堺プレイゼアーズ」「福岡ソフトバンクホークス」の市民観戦事業や、体験教室の開催など、市民がスポーツに親しむきっかけ作りを実施。	スポーツ観戦率	23% (H26年度)	目標 25% 実績 24% 達成率 96.0%	28% 23% 82.1%	34% 34%	34%	34%	継続	64,450	64,450	維持	6,575	課長 0.05人 係長 0.15人 職員 0.60人	順調	引き続き市民がスポーツ観戦できる機会を積極的に提供するとともに、参加者より好評を得ているプロスポーツ選手によるスポーツ教室等を継続し、市民のスポーツ熱のさらなる高まりを目指す。		
ラグビーワールドカップ2019及び2020東京オリンピック・パラリンピックにおけるキャンプ地誘致数					—	目標 — 実績 — 達成率 —	—	—	戦略的な誘致プロモーション活動等の実施	戦略的な誘致プロモーション活動等の実施	戦略的な誘致プロモーション活動等の実施	1ヶ国又は1協議以上 (H31年度)									
49	大規模国際大会誘致関係事業	大規模大会誘致推進室	生涯スポーツの振興やまちなにぎわいづくりへとつながる大規模国際大会の試合会場及び、ラグビーワールドカップ2019や2020東京オリンピック・パラリンピック等のキャンプ地を本市に誘致すること、並びに誘致前後のスポーツ交流や文化交流等へとつながることを目的として、戦略的な誘致プロモーションの展開や、官民一体となった「誘致委員会」による積極的な活動を行う。	国際大会等誘致件数	1件 (H26年度)	目標 — 実績 — 達成率 —	1件 3件 1件	3件 1件	1件以上 (H31年度)												
				ラグビーワールドカップ2019及び2020東京オリンピック・パラリンピックにおけるキャンプ地誘致数	—	目標 — 実績 — 達成率 —	—	—	—	—	—										

市民文化スポーツ局

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善								
施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）						成果の方向性	H27年度	H28年度	事業費の増減	人件費（目安）			H26年度 事業評価	H28年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）	H26年度 局施策評価	H28年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）	
					指標名等	現状値 （基準値）	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度		中期 目標	予算額 （千円）		予算額 （千円）	金額 （千円）	職位					人数
Ⅲ-2-(3)-③ スポーツ施設の整備	50	戸畑D街区スポーツ施設整備事業	スポーツ振興課	戸畑区内に点在し老朽化したスポーツ施設を、戸畑区役所横の浅生小・中学校等跡地（D街区）に集約整備する。	年間利用者数	140,000人 （同地区既存施設利用者数<H24年度>）	目標					190,000人 （H30年度）	—	2,585,800	15,800	減額	18,700	課長 0.30人 係長 1.00人 職員 0.70人	順調	H27年度整備完了予定であり、H28年9月の供用開始に向けて、遺漏なく開館準備作業を進める。	順調	H28年9月の供用開始に向けて、遺漏なく開館準備作業を進める。
Ⅲ-3-(1)-① 市民主体の地域づくりの促進	51	地域総括補助金	地域振興課	各地域団体が連携・協力し、まちづくり協議会を中心に地域が一体となった地域づくりを促進するため、これまで市各局が事業ごとに地域団体に交付していた補助金を可能な限り一本化し、まちづくり協議会に交付する。	地域総括補助金を導入したまちづくり協議会数	130団体 （H26年度）	目標	129 団体	136 団体	134 団体	134 団体	137団体 （H30年度）	継続	394,392	384,295	維持	3,825	課長 0.05人 係長 0.10人 職員 0.30人	順調	「体制が整わない」等の理由で導入を見送るまちづくり協議会に対し、引き続き、区役所コミュニティ支援課と連携した働きかけを行っていき、また、地域の実情に応じた柔軟な地域づくり・まちづくりを進めることができるよう地域総括補助金の「流用」の促進や、「申請方法」の簡略化など制度の見直しに向けた検討を進める。	順調	引き続き、地域が一体となった住民主体の地域づくり・まちづくりを促進するため、地域総括補助金の手続き簡略化を図るとともに、地域カルテづくり事業や、これをフォローするフォローアップ事業を実施する。
	52	住民主体の地域づくりの促進	地域振興課	まちづくり協議会の活性化を図るため、地域課題解決のアイデア等を盛り込んだ「地域カルテ」の作成や、地域カルテに基づく活動を支援するフォローアップ事業を行うとともに、活動の参考となる事例の紹介等を行う「地域のちから」報告会や、「地域づくりマネジメント研修」を開催し、住民主体の地域づくりを促進する。	地域カルテフォローアップ事業を実施したまちづくり協議会数	—	目標	— 団体	10 団体	10 団体	10 団体	住民主体の新たな地域づくりが活発に御行われている状態	継続	6,547	6,326	維持	3,575	課長 0.05人 係長 0.15人 職員 0.20人	順調	地域情報や課題解決のアイデアを盛り込んだ「地域カルテづくり事業」は、毎年各区で1ヶ所程度で順調に進められており、平成26年度より地域カルテに基づく活動を支援するための「フォローアップ事業」を始めたところ、多くの団体に活用され、地域活動の活発化に繋がっている。今後も「地域カルテづくり事業」、「地域カルテフォローアップ事業」に取り組むとともに、「地域のちから報告会」などを開催し、住民主体の地域づくりを促進する。		
Ⅲ-3-(1)-② 地域コミュニティ施設の活用・運営	53	市民センターの充実	地域振興課	市民センターの管理運営を円滑・適正に行うため、公募により多様な人材を市民センター館長として採用し、地域の活動を担うまちづくり協議会への管理委託などを行う。また、市民センターを拠点とした地域づくりを推進するため、未整備校区に市民（サブ）センターを整備し、老朽化対策やバリアフリー化を図り計画的な改修を行う。	市民センター1館当たりの利用者数	—	目標	41 千人	42 千人	42 千人	42 千人	—	継続	2,146,385	2,214,277	増額	46,250	課長 1.00人	順調	これまでの取組みにより、市民センターの利用者数は順調に増加している。今後も、地域活動の拠点施設として、コミュニティ活動の参加人数を増やしていく必要がある。そのため、館長及び市民センター職員的能力向上を図る研修や、タイムリーな情報発信等ソフト面の充実に努めるもの。また、バリアフリー化など利用しやすい施設整備を進めるとともに、公共施設マネジメントの視点で長期的な整備費用の平準化を図るため、施設の長寿命化や計画的改修を行う。	順調	コミュニティ活動の拠点として利用されている市民センターについて、館長や職員を対象とした能力向上研修の実施や、施設のバリアフリー化など、安心して利用しやすい市民センターを目指す。
					市民センターにおけるコミュニティ活動の参加人数（延べ）	—	目標	1,774 千人	1,955 千人	1,955 千人	1,955 千人	—						実績				

市民文化スポーツ局

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善									
施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）						成果の方向性	H27年度	H28年度	事業費の増減	人件費（目安）			H26年度	H28年度に向けて強化・見直した内容（課題に対する改善方法等）	H26年度	H28年度に向けて強化・見直した内容（課題に対する改善方法等）		
					指標名等	現状値（基準値）	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度		中期目標	予算額（千円）		予算額（千円）	金額（千円）	職位	人数		事業評価		局施策評価	
Ⅲ-3-(1)-③ 自治会・町内会への加入促進	54	自治会・町内会活性化の促進	地域振興課	自治会と連携しながら、加入率向上や組織・活動の見直し及び人材育成など新たな課題への対応につながる様々な事業に取り組み、自治会・町内会の活性化を図る。	地域づくり活動へ肯定的な考えの市民の割合	75.4% (H23年度)	目標	80 %	85 %	85 %	85 %	—	継続	31,075	36,822	維持	4,095	課長	0.03 人	やや遅れ	地域は様々な課題に対応するためには、多くの市民に地域コミュニティの重要性を理解してもらい、市民自らが主体的にまちづくりに関わっていくことが重要である。そのため、幅広い層の市民に対し自治会の重要性や理解促進を図るPR活動を展開する。また、住みよいまちづくりに取り組む自治会・町内会の活動について、研修等を通じた組織強化へ支援を行うとともに、転入者や共同住宅住民への働きかけなどを行い、引き続き自治会・町内会の加入促進や活性化を図っていく。	順調	市民に自治会の重要性を理解していただき、市民自らが主体的にまちづくりに関わっていただけるよう、PR活動を展開する。また、自治会等の組織強化支援や、加入促進を促す事業を実施する。
						実績	80.1 %	80.3 %			係長							0.30 人					
Ⅲ-3-(2)-① NPO、ボランティア活動の支援	55	NPO・市民活動促進事業	市民活動推進課	市民活動の促進に加え、NPOと行政の協働を推進するため、活動や協働等に関する相談・助言、情報提供、研修・啓発等を実施する。	新規設立NPO法人数（累計）	18法人 (H24年度)	目標	30 法人	45 法人	60 法人	75 法人	75法人 (H28年度)	継続	17,664	20,420	その他	20,700	課長	0.30 人	順調	市民活動の裾野を広げるため、市民に対し活動のきっかけづくりとなるセミナー、講演会を引き続き開催するとともに、NPO法人の適正運営のため、相談機能の充実を図る。	順調	市民活動への参加のきっかけづくりとなるセミナーや講演会を引き続き開催するとともに、NPO法人の適正運営のための各種支援を行う。また、NPOへの資金的な支援は今後も継続していく。
						実績	31 法人	47 法人			係長							0.60 人					
Ⅲ-3-(2)-② NPO、企業、研究機関などの連携の構築	57	多様な主体による市民活動の輪づくり事業	市民活動推進課	市民主体のまちづくりを推進するため、市民活動への理解を深め、新たな担い手の参加を促すとともに、NPOと様々な団体間のネットワークづくりや協働を支援する。	NPOと企業・地域・大学等との協働件数	—	目標			— 件	5 件	5件 (H28年度)	—	3,000	4,698	その他	3,470	課長	0.03 人	—	様々な団体間のネットワークづくりのため、NPO・企業・大学等の交流の機会を引き続き提供する。併せて、新たにNPOと企業や地域等とのマッチングを促進し、協働事業の実施を支援する。	—	NPO・企業・大学等の交流の機会を引き続き提供する。併せて、新たにNPOと企業と地域等とのマッチングを促進し、協働事業の実施を支援する。
						実績					係長							0.20 人					

市民文化スポーツ局

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善													
施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）						成果の方向性	H27年度	H28年度	事業費の増減	人件費（目安）			H26年度	H28年度に向けて強化・見直した内容（課題に対する改善方法等）	H26年度	H28年度に向けて強化・見直した内容（課題に対する改善方法等）						
					指標名等	現状値（基準値）	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度		中期目標	予算額（千円）		予算額（千円）	金額（千円）	職位	人数		事業評価		局施策評価					
Ⅲ-3-(3)-① 市民参画と協働のための仕組みづくり	58	「NPOとの協働によるまちづくり」人材育成事業	市民活動推進課	協働に関する理解を深めるための研修、協働事業を実施するために必要な団体運営力向上を図るための研修を実施する。また、経済的に自立したNPOの増加を図るため、資金調達力や企画力の向上を図るセミナーを実施する。	NPOとの協働についての研修への参加者数（累計）	203人 (H22年度)	目標 400人	実績 536人	達成率 134.0%	550人	639人	700人	850人	850人 (H28年度)	継続	744	1,919	その他	8,300	課長 0.20人	係長 0.30人	職員 0.40人	順調	協働を進めるための人材育成研修の充実を図る。また、NPOの経済的な自立を促進するため、資金調達力や企画力の向上を図るセミナーを実施する。	順調	協働を進めるための人材育成や、NPOの経済的な自立促進を図るとともに、NPOと企業や大学等とのネットワークを構築することで、市民参画と協働の仕組みづくりを行う。	
	59	多様な主体による市民活動の輪づくり事業	市民活動推進課	市民主体のまちづくりを推進するため、市民活動への理解を深め、新たな担い手の参加を促すとともに、NPOと様々な団体間のネットワークづくりや協働を支援する。	NPOと企業・地域・大学等との協働件数	-	目標 /	実績 /	達成率 /	/	/	-件	5件	5件 (H28年度)	継続	3,000	4,698	その他	3,470	課長 0.03人	係長 0.20人	職員 0.15人	-	様々な団体間のネットワークづくりのため、NPO・企業・大学等の交流の機会を引き続き提供する。併せて、新たにNPOと企業や地域等とのマッチングを促進し、協働事業の実施を支援する。	順調		
Ⅲ-3-(3)-② 市民との協働を推進できる市役所づくり	60	NPO・市民活動促進事業	市民活動推進課	市民活動の促進に加え、NPOと行政の協働を推進するため、活動や協働等に関する相談・助言、情報提供、研修・啓発等を実施する。	新規設立NPO法人数（累計）	18法人 (H24年度)	目標 30法人	実績 31法人	達成率 103.3%	45法人	47法人	60法人	75法人	75法人 (H28年度)	継続	17,664	20,420	その他	20,700	課長 0.30人	係長 0.60人	職員 1.50人	順調	市民活動の裾野を広げるため、市民に対し活動のきっかけづくりとなるセミナー、講演会を引き続き開催するとともに、NPO法人の適正運営のため、相談機能の充実を図る。	順調	市民活動のきっかけづくりとなるセミナー、講演会等の充実を図る。また、NPO法人の適正運営を図るため、相談機能の充実やセミナーを開催する。	
	61	「NPOとの協働によるまちづくり」人材育成事業	市民活動推進課	協働に関する理解を深めるための研修、協働事業を実施するために必要な団体運営力向上を図るための研修を実施する。また、経済的に自立したNPOの増加を図るため、資金調達力や企画力の向上を図るセミナーを実施する。	NPOとの協働についての研修への参加者数（累計）	203人 (H22年度)	目標 400人	実績 536人	達成率 134.0%	550人	639人	700人	850人	850人 (H28年度)	継続	744	1,919	その他	8,300	課長 0.20人	係長 0.30人	職員 0.40人	順調	協働を進めるための人材育成研修の充実を図る。また、NPOの経済的な自立を促進するため、資金調達力や企画力の向上を図るセミナーを実施する。			
				収入増加団体数（累計）	3団体 (H26年度)	目標 /	実績 3団体	達成率 100.0%	3団体	3団体	6団体	9団体	9団体 (H28年度)	継続													

市民文化スポーツ局

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善							
施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）						成果の方向性	H27年度	H28年度	事業費の増減	人件費（目安）			H26年度	H28年度に向けて強化・見直した内容（課題に対する改善方法等）	H26年度	H28年度に向けて強化・見直した内容（課題に対する改善方法等）
					指標名等	現状値（基準値）	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度		中期目標	予算額（千円）		予算額（千円）	金額（千円）	職位	人数		事業評価	
IV-2-(2)-②	62	「NPOとの協働によるまちづくり」人材育成事業	市民活動推進課	協働に関する理解を深めるための研修、協働事業を実施するために必要な団体運営力向上を図るための研修を実施する。また、経済的に自立したNPOの増加を図るため、資金調達力や企画力の向上を図るセミナーを実施する。	収入増加団体数（累計）	3団体 (H26年度)	3団体	6団体	9団体	9団体 (H28年度)	継続	1,457	1,919	その他	8,300	課長 0.20人 係長 0.30人 職員 0.40人	順調	協働を進めるための人材育成研修の充実を図る。また、NPOの経済的な自立を促進するため、資金調達力や企画力の向上を図るセミナーを実施する。	順調	協働を進めるための人材育成研修の充実を図る。また、NPOの経済的な自立を促進するため、資金調達力や企画力の向上を図るセミナーを実施する。	
IV-4-(1)-②	63	文学館普及研究費	文学館	北九州市ゆかりの文学者の業績を企画展等で紹介し、本市の文芸の振興に功績のあった文学者を市内外に発信する。	企画展の入館者数（単位：人）	10,741人 (H23年度)	13,211人	22,000人	22,000人	22,000人 (H27年度)	継続	23,125	19,125	減額	12,625	課長 0.50人 係長 0.50人 職員 0.25人	順調	平成28年度の特別企画展に関しては、より多くの市民が関心を持ち、集客が見込めるものに特化し、メリハリをつけた事業の展開を図る。	順調	北九州市ゆかりの作家を効果的に市内外へ発信できるように、魅力ある企画展等を開催する。また、文学館は開館10周年を迎えるため、記念講演等も開催する。	
	64	松本清張記念館研究センター・普及事業	松本清張記念館事務局	【研究センター事業】 ①松本清張に関するあらゆる資料を収集・整理し、松本清張の「人と作品」を研究する調査研究・資料収集事業を行う。②松本清張研究者に奨励金を贈呈する研究奨励事業を行う。③研究誌を発行。 【普及事業】 ①企画展を開催。（年2回）②講演会、読書感想文コンクールなどの市民文芸活動支援事業を行う。	松本清張記念館の入館者数	58,187人 (22年度)	49,575人	60,000人	60,000人	—	継続	12,812	12,900	維持	23,250	課長 0.50人 係長 1.00人 職員 1.00人	やや遅れ	事業内容について効果的に市内外へ発信できるように努める。また、企画展の開催については、既存の予算の範囲でより多くの市民に質の高いものを提供し来館者数の増加を目指す。			
IV-4-(2)-③	65	映像製作誘致強化関連事業	文化企画課	映画・テレビドラマ等のロケ地誘致や撮影支援を積極的に行い、本市の知名度と都市イメージの向上を図る。また、活動成果の市民との共有や、「映画の街・北九州」という新たな都市ブランドの発信により、街のにぎわいの創出や市民交流等のまちづくりにつなげる。	地域経済への貢献（直接経済効果）	100,000千円 (H21年度)	310,440千円	100,000千円	110,000千円	110,000千円						継続	26,192	29,288	増額	36,100	課長 0.40人 係長 1.80人 職員 1.80人
					北九州フィルム・コミッションの市民への認知度	59.8% (H25年度)	59.8%	60.0%	60.0%	80.0% (平成30年度)											
VI-1-(1)-①	66	市民活動団体等による環境未来都市推進支援事業	市民活動推進課	環境未来都市計画が掲げる目標を達成するため、NPOなどの提案団体と市が協働して取り組む事業に経費の一部を補助。	補助交付事業件数（累計）	6件 (H24年度)	11件	10件	20件	25件	継続	4,954	4,954	維持	3,775	課長 0.10人 係長 0.15人 職員 0.15人	順調	環境未来都市の実現に向け、NPOに対する資金面での支援を今後も継続して実施していく。	順調	環境未来都市の実現に向け、NPOに対する資金面での支援を今後も継続して実施していく。	